

授業科目名	自然と人間	担当教員名	赤松 綾子
必修/選択	選択	開講学年・学期	2年 前期 (年間開講数 1講座)
科目区分	基礎科目	単位数	2単位
施行規則に定める科目区分等		授業方法/担当形態	講義 / 単独
		特記事項	※実務経験のある教員等による授業 幼稚園園長、幼稚園教諭として長年にわたる実務経験を活かして、具体的な実践記録を紹介して授業を行っている。
授業の到達目標	(1) 自然と人間の関わりを、身近な課題としてとらえることができるように、科学的識見を育てる。 (2) 保育者として、保育における「自然環境」について考える。 (3) 保育において、自然環境との出会い機会の捉え方について学ぶ。 (4) 人と物との関係や人との関わりという間接的見方で「環境」を考える。		
授業の概要	身近な自然に興味を持つとともに、保育者として、自然を保育に生かせるような授業に心がけたい。		
テキスト	使用しない		
参考書・参考資料等	「平成29年告示 幼稚園教育要領 保育所保育指針 幼保連携型認定こども園教育・保育要領 原本」(株式会社チャイルド本社)		
成績評価の方法	授業の参加意欲・態度・提出物 (20%) 定期試験 (80%)		
授業計画	授業の内容	到達目標番号	
第1回	明治時代からの保育環境 (自然) の歴史と変遷 ・園内の自然環境 ・園外保育の始まり	(1)-①	
第2回	子どもと自然をむすぶために ・保育者の役割について ・保育者の自然のとらえ方	(2)-①	
第3回	子どもにとっての自然環境とは	(3)-①	
第4回	現在の保育課題と自然との関わり	(1)-②	
第5回	自然と遊ぼう ・風との遊びを考える	(3)-②	
第6回	自然と遊ぼう ・小虫との遊びを考える	(3)-③	
第7回	自然との遊びから、子どもが経験していることについてまとめてみよう。 ・5回6回での遊びについて検討する。	(3)-④	
第8回	トマトを栽培しよう ・世話をする体験をしてみよう。	(2)-②	
第9回	思考力の芽生えと自然との関わりからの学び ・そのものの理解 ・法則性 ・予測や見通し	(1)-②	
第10回	思考力の芽生えと保育者の関わり ・事例を通して思考の芽生えを考える	(1)-③	
第11回	身近な動植物と子どもの関わり ・動植物の飼育栽培から自然と子どもをむすぶ	(4)-①	
第12回	地域の環境をデザインしてみよう ・地域での自然マップをつくろう	(4)-②	
第13回	園庭をデザインしてみよう ・自然環境と遊具の組み合わせを考える	(4)-③	
第14回	命を感じる自然環境とは ・具体的な事例より	(4)-④	
第15回	まとめ	(1)-④	
定期試験	筆記試験		